

治療した部位と治療方法

1 問診診察結果 (仔犬 名前はイチゴ)

- (1) 全く動かない。
- (2) 右後ろ足が折れている。 ※問診は以上のことだけであつた。
- (3) 電池は入っていなかった。電池 BOX は、下図のとおり最近使われていなかったことが推測できる。

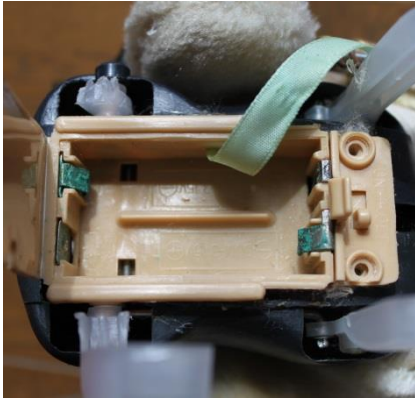


図-1



図-2

2 治療の方法

- (1) まずは、電池 BOX の錆落としから始めた。図-3

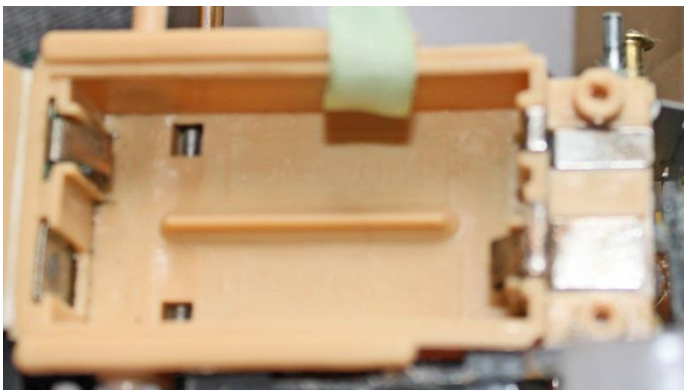


図-3-1 電池 BOX と SW 固定端子



図-3-2 SW 可動接触片

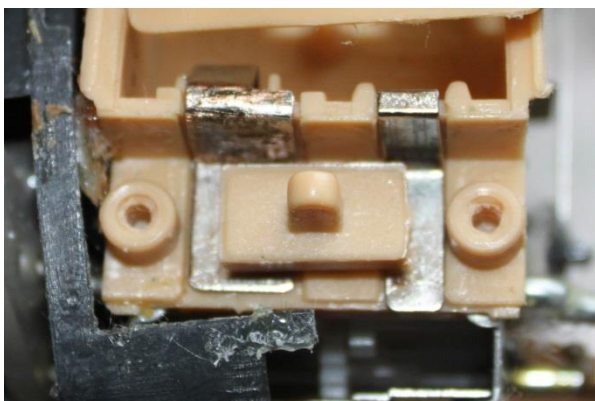


図-3-3 SW 操作部(スライダー)

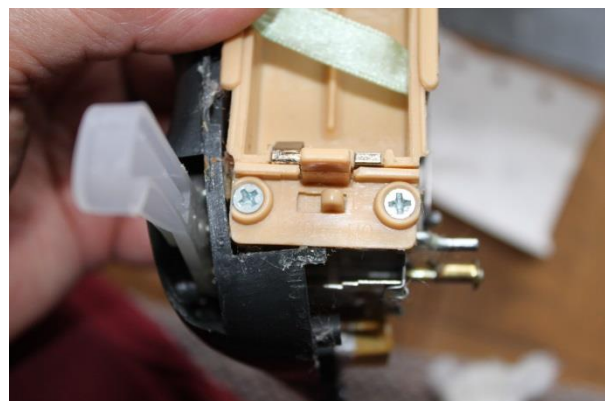


図-3-4 SW 部組立て完了

- (2) 電池 BOX の手入れとスイッチ部の手入れおよび組立てが完了した。

(3) 右後ろ足の骨折治療を行う。

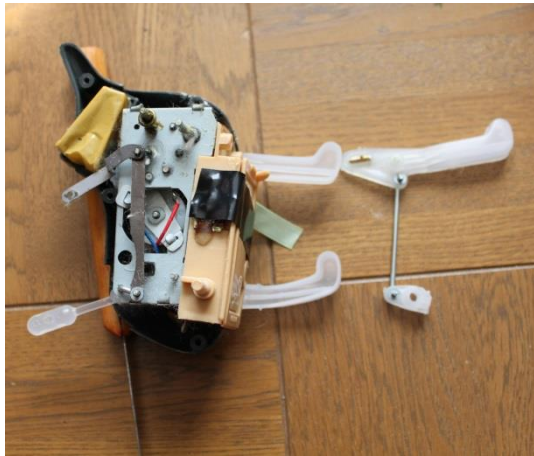


図-4 右後ろ足の骨折状態

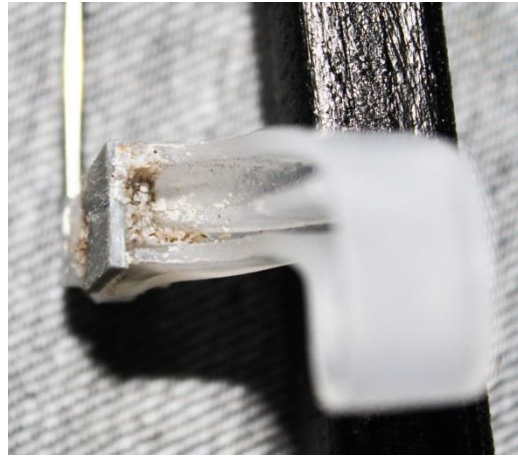


図-5 瞬間接着剤で折れた箇所を繋ぎ十分乾燥させる。本体との隙間が十分あり添板を貼り付け、中へも補強の処置



図-6 骨折部の仕上げ



図-7 上は前足



図-8 正常な後ろ足 の状態

(4) 故障した部位の治療を終え、仮の組立てで、電池を入れスイッチをONにすると正常に作動することを確認し正式に組立てて完了した。



図-9 痛々しい骨折時



図-10 退院間近の仔犬「イチゴ」

※依頼者の女の子が命名した

3 ドクターからのアドバイス

図-4の写真のように、「か細い足」で重い体を支えておりますので、足が骨折しやすい作りになっていると思います。もう少し「強い足」にして頂きたいと思いますよね。大事にしてね。

お渡しした日 : 平成28年2月27日

担当ドクター : 谷 春 雄